



「虔(つつしみ) 賢(かしこく) 健(すこやかに)」

学校教育目標 『ふるさと・人・命』を大切にし、夢や目標に向かい粘り強く努力する児童の育成

水俣第一小学校 校長 丸尾 浩輝

2学期スタート ～ 今より もうちょっとだけ ～

8月28日は第2学期のスタートでした。夏休み期間中、特に大きな事故等もなく、無事に2学期始業式を迎えることができ、うれしく思います。子供たちには、「2学期は、今よりもうちょっとだけ頑張ろう。」と話しました。キーワードは「もうちょっとだけ」です。無理することなく、今よりもうちょっとだけ頑張れば、着実に向上します。あせらず、ゆっくりゆっくり成長します。



引き渡し訓練 ～ 2年前の反省を生かして～

9月12日に引き渡し訓練を実施しました。今回は、「不審者が逃走中で、保護者への直接の引き渡しが必要になった。」という設定で行いました。一斉メールで連絡を受けた保護者は、それぞれ車や自転車、徒歩等で学校に引き取りに駆けつけました。

一昨年、実施した引き渡し訓練では、学校周辺に大渋滞を引き起こしてしまい、途中で警察から中止要請を受けるほど周囲に大迷惑をおかけしたと聞いています。その猛省を生かし、昨年から警察や市役所等の関係機関と密に連携を図り、長い時間をかけて計画を練ってきました。その成果が実り、今回は大きな渋滞等を引き起こすことなく、スムーズに訓練を実施することができました。協力いただいた、関係機関、保護者、地域の皆様方に心から感謝申し上げます。



2つの贈り物 ～たくさん読んで遊びます～



夏休みに、本校に2つの贈り物が届きました。図書(12冊)と「リングビー」(30枚)です。図書は、本校の第28代校長 白瀬友信先生のご遺族様から毎年寄贈されているものです。本校図書室にも「白瀬文庫」というコーナーが設置されています。「リングビー」は、保護者の方から寄贈いただきました。フリスビーに似たような道具で、投げたりキャッチしたりして遊びます。フリスビーよりも汎用性が高く、いろいろな使い方が工夫できます。図書、リングビーともに、「子供たちに、たくさん読んで欲しい。遊んで欲しい。」という寄贈いただいた方々の思いが込められています。始業式で2つの贈り物の紹介をすると、早速、図書室へ行き新しい本を借りたり、昼休みにリングビーを投げ合って遊んだりする子供たちの姿が見られました。寄贈いただいた方々に、心から感謝申し上げます。

寄贈本



リングビー



連日、水難事故のニュースが流れます。県内でも、先日、川で遊泳中の中学生が流され死亡するという痛ましい事故が起こっています。9月下旬とは言え、まだまだ暑い日が続くため、海・川等の水辺での事故が懸念されます。「自分の命は自分で守る」という自助意識を高めていくことが不可欠です。機会を捉え、粘り強く指導していきたいと思います。

朝、校門前で交通指導に立っていると、横断歩道手前で停車し、子供たちが渡るのをじっと待っていただくドライバーの姿があります。交通ルールで決まっているとは言え、いくつかの登校班が重なると、長い時間、待っていただくことになり、申し訳なく思うときがあります。このような方々の優しさに支えられ、子供たちは安全に登校することができています。